

Annual Report

令和 2 年度

館報

第 27 号



2021

Shizuoka City Toro Museum
静岡市立登呂博物館

目次

1	基本理念・沿革	
1-1	基本理念	3
1-2	沿革	4
2	概要	
2-1	登呂博物館	6
2-2	登呂遺跡	6
3	管理運営	
3-1	利用状況	7
3-2	利用者数詳細	7
3-3	入館者数推移	8
3-4	観覧者数推移（リニューアル後）	8
3-5	体験学習等利用状況	9
3-6	組織	10
3-7	予算・決算	11
4	展示	
4-1	春季企画展「お米づくり、はじめました。－静岡市の弥生時代－」	13
4-2	夏季企画展「実測」	15
4-3	秋季企画展「水とともに生きる－静岡平野のパイオニア－」	17
4-4	冬季企画展「「ちっちゃ」展」	19
4-5	令和3年度春季企画展「前方後円墳がやってきた。－静岡市の古墳時代－」	21
4-6	特別展・企画展開催実績（リニューアル後）	23
4-7	通常展示	24
5	保存活用	
5-1	修理事業	25
5-2	資料貸出	26
5-3	寄贈	26
6	教育普及	
6-1	主催事業	27
6-2	共催・連携事業	32
6-3	講師派遣・出張講座	33
7	職場体験・博物館実習等	
7-1	職場体験	34
7-2	視察等受入	34
7-3	博物館実習	34
8	広報	
8-1	広報印刷物	35
8-2	ウェブサイト・SNS	36
8-3	報道・広告等	37
8-4	トロペー	39
9	その他	
9-1	博物館ボランティア	41
9-2	博物館協議会	43
10	利用案内	45

1 基本理念・沿革

1-1 基本理念

登呂博物館は、登呂遺跡と一体化した博物館として昭和47年に開館し、平成22年10月にリニューアルオープンしました。リニューアルに際し策定された「建替基本構想」（平成18年3月）では次のとおり基本理念が定められました。

基本方針

登呂遺跡は、特別史跡として貴重な国家的文化遺産であり、静岡市を代表する文化的シンボルであります。新たな博物館は、この登呂遺跡と一体化した遺跡博物館になることを目指し、登呂遺跡の保存と後世への継承、有意義で幅広い活用に努めます。

また、登呂遺跡の発掘調査によって明らかにされた稲作農耕文化とその発掘調査がもたらした意義を博物館活動の中心テーマに据え、博物館の内外でさまざまな活動を展開します。

そして、登呂遺跡が伝える歴史や文化あるいは地域について、豊かな実感を持って学ぶことができる場となり、人々の活気にあふれる集いと温もりのある交流を生み出していく役割を果たします。

役割と使命

- 1 登呂遺跡と一体化した遺跡博物館
- 2 稲作農耕文化に関する調査・研究の拠点
- 3 登呂遺跡の発掘調査がもたらした意義の継承
- 4 情報の収集と発信、ネットワーク化の推進
- 5 楽しく・豊かに・実感できる学びの創出
- 6 学校教育との連携・生涯学習への支援
- 7 「登呂学」の創造を通じた集いと交流の促進



また、博物館リニューアルに先立ち、登呂遺跡については、平成7年3月に有識者委員会によって「特別史跡登呂遺跡保存整備基本計画」が策定され、平成11年度から15年度にかけて再発掘調査が行われました。

そして、再発掘調査の結果を基にして「特別史跡登呂遺跡再整備基本設計」が平成17年3月に策定され、平成18年度から平成23年度にかけて再整備事業が行われました。

「基本設計」では再整備の目的・方針について、次のように定められています。

整備の目的

登呂遺跡は、今日までつづく日本の農耕文化の初期段階（弥生時代の実態をしめし、弥生時代の社会の様子を学ぶことのできる貴重な遺跡である。そうした登呂遺跡の特徴を良好に保存しつつ、正しく理解し、継続的な遺跡空間の活用を図る。また、地域住民に親しまれ、活かされることで、地域の誇りとして長く受け継がれていく遺跡となるようにする。

1. 登呂遺跡を正しく理解するために、遺構の精密な検討をもとに復元的に整備を行う。
2. 史跡整備の先駆として、常に新たな体験と情報が発信できる機能を有した整備とする。

3. 地域の人々が遺跡の活用と運営に積極的に関わることができる機能と運営体制を整える。地域の人々の生活の一部としての機能を保持する。
4. 整備により整えられた機能を活かし、継続的に保存・活用して行くための運営体制の充実を図る。

整備方針

学術的な成果に基づいて復原整備を行うと共に、より多くの人々が関わりを持てる遺跡となるようにするため、活用を中心として運営が行えるように整備を行う。また、現在の登呂遺跡は都市公園としても位置付けられ、災害時の広域避難地にも利用されることから、都市公園としての機能も含んだ整備とする。

1. 盛土等により、遺構の保存を図った上で活用を行う。
2. 住居域と水田域を一体として感じられる空間として整備を行う。
3. 体験を重視した遺跡運営を継続的に行うことのできる整備とする。
4. 遺跡のエントランス機能と体験・情報発信の中心として博物館を充実させるとともに、遺跡公園と博物館の一体化を図り整備を行う。
5. 遺跡公園としての復元的空間表現を重視した整備とするとともに、従来の都市公園的機能を取り入れる。(都市公園としての機能は遺跡外周部に集約する。)

1-2 沿革

昭和 18 年 (1943)	1 月	軍需工場建設の際、遺跡が発見される
	7 月 11 日	「登呂遺跡発見」の新聞報道 (毎日新聞静岡版)
	8~9 月	静岡県による第一次発掘調査
昭和 20 年 (1945)	6 月 20 日	静岡大空襲。調査記録・大型木製資料などが焼失
昭和 22 年 (1947)	7 月	「登呂遺跡」を正式名称に決定
	7~9 月	静岡市登呂遺跡調査会による第二次発掘調査開始 (7 月 13 日鋤入式)
	11 月	東京国立博物館にて『登呂遺跡出土品特別展』開催 (昭和 23 年にも)
昭和 23 年 (1948)	4 月	日本考古学協会発足。静岡市登呂遺跡調査会解散
昭和 23 年~25 年 (1948~50)		日本考古学協会による第三次~第五次発掘調査
昭和 24 年 (1949)	11 月	調査報告書『登呂』 (日本考古学協会編、毎日新聞社発行) 刊行
昭和 25 年 (1950)	4 月	奈良国立博物館にて 『古代農耕文化展 -登呂遺跡・瓜郷遺跡・唐古遺跡から見た-』開催
昭和 26 年 (1951)	1 月	登呂遺跡休憩所 (案内所・名物協会売店併設) 竣工
	3 月	1 号復元住居を建設
昭和 27 年 (1952)	4 月	1 号高床倉庫を建設
	3 月 29 日	国史跡に指定 (11,600 m ²)
	11 月 22 日	国特別史跡に指定 (11,600 m ²)
昭和 29 年 (1954)	9 月	調査報告書『登呂-本編-』 (日本考古学協会編、毎日新聞社発行) 刊行
昭和 30 年 (1955)	4 月	静岡考古館 開館 (各研究機関からの出土品の返還を受けて)
昭和 34 年~42 年 (1959~67)		遺跡隣接地を購入し、都市公園として整備
昭和 35 年 (1960)		地元住民が「登呂会」を結成。第一回「登呂まつり」開催
昭和 40 年 (1965)	7~8 月	東名高速道路建設に伴う静岡県文化財保存協会による第六次発掘調査
昭和 41 年 (1966)		遺跡隣接地・水田部分 (48,300 m ²) が史跡に仮指定される

昭和 43 年～47 年 (1968～72)		住居跡・森林跡・水田跡の一部・東名高架下を整備
昭和 46 年 (1971)	10 月	静岡考古館 閉館
昭和 47 年 (1972)	4 月 1 日	静岡市立登呂博物館 開館
昭和 47 年～53 年 (1972～78)		水田跡を復元整備
昭和 49 年 (1974)	2 月 20 日	天皇・皇后両陛下ご来館
昭和 53 年 (1978)	12 月 21 日	仮指定地が特別史跡に追加指定 (48,300 m ²)
昭和 56 年 (1981)	6 月	公園内に「静岡市立芹沢銈介美術館」開館
昭和 59 年 (1984)		登呂遺跡発見 40 周年記念事業の開催 (シンポジウムほか)
昭和 63 年 (1988)	10 月	日本考古学協会設立 40 周年記念静岡大会 「日本における稲作農耕の起源と展開」開催
平成 2 年 (1990)	6 月	「弥生人体験クラブ」結成
平成 4 年 (1992)	10 月	静岡県浙江省友好提携 10 周年記念シンポジウム 「イネのルーツ・シンポジウム～登呂のルーツは浙江省にあり」開催
	11 月	博物館開館 20 周年式典開催
平成 5 年 (1993)		登呂遺跡発見 50 周年記念事業の開催 (シンポジウムほか) 「市民水田」事業の開始
平成 6 年 (1994)	3 月	博物館リニューアル。1 階を参加体験ミュージアムとしてオープン
平成 7 年 (1995)		「博物館ボランティア」の導入
平成 11 年～15 年 (1999～2003)		登呂遺跡再発掘調査 (第 19 次～23 次調査)
平成 15 年 (2003)	11 月	登呂遺跡発見 60 周年記念シンポジウム 「弥生時代の登呂ムラと各地のムラ」開催
平成 16 年 (2004)	2 月 27 日	登呂遺跡出土品 699 点が静岡県指定文化財に指定
平成 18 年～23 年 (2006～2011)		登呂遺跡再整備
平成 19 年 (2007)	6 月 30 日	登呂博物館 閉館
平成 20 年 (2008)	9 月 13 日	第四回日本考古学協会公開講座 ～考古学から見えてきたふるさとの歴史～ 「はじまりは登呂遺跡 -弥生農村の実像を求めて-」開催
平成 21 年 (2009)		登呂遺跡・登呂博物館イメージキャラクター「トロペー」誕生
平成 22 年 (2010)	10 月 3 日	登呂博物館リニューアルオープン
平成 23 年 (2011)	9～10 月	リニューアル一周年記念特別展 「発掘された日本列島 2011」を開催 (全国巡回展の一会場として)
平成 28 年 (2016)	8 月 17 日	登呂遺跡出土品 775 点が重要文化財に指定
	11 月	重要文化財指定記念イベント「とろエンナーレ 2016」開催
	11 月 19 日	重要文化財指定記念シンポジウム 「遺跡からみる 弥生集落のかたち」開催
平成 30 年 (2018)		重要文化財指定資料の修理事業開始
	4 月 24 日	音声ガイドの利用開始
	11 月 3 日	日本考古学協会設立 70 周年記念事業の一つとして 公開講演会「子どもたちと語る考古学と未来」開催

2 概要

2-1 登呂博物館

(1) 開館日 昭和47年4月1日
リニューアルオープン 平成22年10月3日

(2) 建物

ア 構造 鉄骨鉄筋コンクリート造2階

イ 面積 建築面積 1,259.64 m²

延床面積 2,296.52 m²

部門	諸室	面積(m ²)
保管	一般収蔵庫	96.65
	特別収蔵庫	25.41
	前室	19.29
展示	体験展示室	286.26
	常設展示室	211.82
	特別・企画展示室	96.90
	展示準備室	10.98
調査研究	調査研究室、写場	53.51
教育普及	交流ホール(収納庫除く)	160.18
交流	図書コーナー、書庫など	180.55
搬入搬出	トラックヤード、荷解場	97.39
管理運営	ミュージアムショップ	26.64
	事務室	69.79

(3) 建設業者

建築設計 株式会社川口建築都市設計事務所
(現 合同会社デザイン・アープ)

展示設計 株式会社丹青社

建築工事 木内建設株式会社

電気工事 近和電業株式会社

衛生工事 大和工機株式会社

空調工事 内川工業株式会社

昇降機工事 株式会社日立製作所

展示工事 株式会社丹青社

展示情報工事 NEC ネットズエスアイ株式会社

2-2 登呂遺跡

(1) 遺跡の性格

特別史跡、都市公園(登呂公園)、一時避難地

(2) 面積

総面積 約66,000 m²*

(うち特別史跡指定面積 59,900 m²)

※特別史跡に博物館・美術館・銈介の家を加えた面積

(3) 復元建物

ア 棟数 住居 5棟^{※1,2}

高床倉庫 3棟^{※1}

祭殿 1棟

※1 各1棟は昭和年間に設計のもの

※2 1棟は鉄骨造GRCパネル貼り構造

イ 設計 昭和-関野克 平成-宮本長二郎

(4) 復元水田 面積 約21,000 m²

(5) 再整備設計 株式会社文化財保存計画協会

(6) 管理状況

ア 遺跡、博物館等

静岡市観光交流文化局文化財課

イ 芹沢銈介美術館

静岡市観光交流文化局文化振興課

ウ 登呂公園(学びの広場、園路など)

静岡市都市局都市計画部緑地政策課、

公園整備課

エ 駐車場運営

公益財団法人するが企画観光局

営業時間 8:30 - 17:00

料金 普通車400円、バス1,500円

オ ミュージアムショップ運営

大石商店

3 管理運営

3-1 利用状況

令和2年度博物館利用状況（）内は前年度の値

開館日数 264日（304日） ※新型コロナウイルス感染症対策のため、4月18日～5月31日まで休館

入館者数 97,168人（169,568人）

観覧者数 29,327人（39,257人）

団体見学 274団体※（392団体） ※減免処理した学校団体と一般団体の合計

3-2 利用者数詳細（単位：人）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
有料観覧者数	一般	個人	99	0	490	963	1,860	1,234	775	1,030	348	392	671	925	8,787
		団体	0	0	0	0	2	1	2	0	0	0	4	0	9
		回数券	0	0	10	5	15	6	27	10	25	5	5	7	115
		助成券	2	0	15	23	60	13	17	17	4	9	10	6	176
		共通個人	8	0	224	168	420	316	363	329	103	153	252	159	2,495
		共通団体	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
		小計	109	0	739	1,159	2,357	1,572	1,184	1,386	480	559	942	1,097	11,584
	高校・大学生	個人	12	0	24	59	115	94	53	55	148	103	69	167	899
		団体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		回数券	0	0	0	5	0	0	0	0	0	5	0	10	20
		助成券	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	2
		共通個人	0	0	16	14	28	48	11	14	10	8	11	19	179
		共通団体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		小計	12	0	40	78	144	142	64	70	158	116	80	196	1,100
	小・中学生	個人	25	0	106	190	514	408	162	194	39	48	123	280	2,089
		団体	0	0	0	0	0	0	35	0	104	0	58	0	197
		回数券	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		助成券	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	1	4
		共通個人	0	0	8	12	48	22	13	15	0	2	12	3	135
		共通団体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		小計	25	0	114	202	562	430	211	209	145	50	193	284	2,425
合計	146	0	893	1,439	3,063	2,144	1,459	1,665	783	725	1,215	1,577	15,109		
無料観覧者数	一般	学校行事	0	0	36	29	14	77	373	230	94	10	36	33	932
		身障者	14	0	31	48	137	87	77	89	32	45	67	62	689
		高齢者	12	0	6	19	37	56	42	48	16	39	45	77	397
		施設	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		視察等	0	0	0	0	0	0	5	2	0	0	0	0	7
		その他	0	0	7	0	6	4	47	25	17	0	9	3	118
		小計	26	0	80	97	194	224	544	394	159	94	157	175	2,144
	高校・大学生	学校行事	0	0	26	32	0	0	8	0	0	9	0	0	75
		身障者	0	0	0	0	1	6	0	1	0	0	1	1	10
		研究	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		小計	0	0	26	32	1	6	8	1	0	9	1	1	85
	小・中学生	学校行事	0	0	739	592	208	919	3,035	2,094	1,114	135	551	479	9,866
		身障者	1	0	3	6	21	11	3	5	2	6	10	7	75
		市内	9	0	93	77	335	58	66	95	17	60	33	55	898
		キッズ	1	0	42	76	88	56	23	16	15	11	38	25	391
		幼児	5	0	53	67	203	87	56	90	16	57	67	58	759
		施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		小計	16	0	930	818	855	1,131	3,183	2,300	1,164	269	699	624	11,989
	合計	42	0	1,036	947	1,050	1,361	3,735	2,695	1,323	372	857	800	14,218	
	総計	観覧者	188	0	1,929	2,386	4,113	3,505	5,194	4,360	2,106	1,097	2,072	2,377	29,327
総入館者	2,510	0	7,346	8,547	10,893	10,630	15,254	15,887	6,928	4,434	6,691	8,048	97,168		

3-3 入館者数推移（単位：人）

月 年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
22	-	-	-	-	-	-	27,255	18,323	10,780	14,372	16,636	14,948	102,314
23	25,094	29,751	20,176	15,028	26,905	12,557	18,758	14,290	8,486	10,523	13,019	13,026	207,613
24	24,132	27,420	14,333	13,025	23,665	13,366	15,592	13,267	7,260	10,126	13,426	14,254	189,866
25	19,688	26,403	14,434	11,286	22,603	11,489	18,326	14,561	7,424	10,418	10,285	16,210	183,127
26	22,361	28,563	13,940	11,398	25,578	12,311	18,483	13,945	4,973	8,887	10,614	12,976	184,029
27	23,132	27,869	12,493	11,638	21,821	16,666	17,429	12,150	6,821	9,691	10,397	16,329	186,436
28	24,112	29,217	12,727	12,787	21,039	10,708	16,663	13,591	7,601	9,545	10,795	16,106	184,891
29	19,882	23,605	14,930	11,352	23,020	10,145	15,195	11,274	6,562	9,129	10,139	12,358	167,591
30	20,688	24,713	13,215	10,411	21,188	12,139	16,417	11,125	7,599	8,611	9,582	12,108	167,796
31(1)	20,657	27,282	15,230	12,358	21,300	12,191	11,914	12,828	6,691	8,494	11,241	9,382	169,568
2	2,510	0	7,346	8,547	10,893	10,630	15,254	15,887	6,928	4,434	6,691	8,048	97,168
リニューアル後（H22～R2）													1,840,399
旧博物館（S47～H19）													6,954,504
合 計													8,794,903

3-4 観覧者数推移（リニューアル後）（単位：人）

月 年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
22	-	-	-	-	-	-	9,306	6,407	3,000	4,163	5,161	4,216	32,253
23	9,128	10,711	6,290	4,514	7,763	4,169	7,023	5,101	2,178	3,105	3,066	3,360	66,408
24	8,049	9,541	4,368	3,442	8,222	3,873	3,841	3,782	1,942	2,484	3,240	3,362	56,146
25	6,705	9,172	3,746	2,772	6,268	2,699	3,780	3,359	1,515	2,169	1,736	3,112	47,033
26	7,116	9,031	3,640	2,284	6,096	2,686	3,367	2,802	815	1,873	2,036	2,210	43,956
27	7,287	7,045	3,283	2,725	4,863	3,506	2,875	2,418	929	1,713	2,144	3,708	42,496
28	7,656	7,957	3,795	3,263	4,894	2,603	3,288	2,613	1,555	2,307	2,552	3,329	45,812
29	6,600	6,136	4,125	3,035	5,734	1,881	3,104	2,347	1,003	2,462	2,676	2,688	41,791
30	6,385	6,557	3,399	2,121	4,725	2,285	3,064	1,770	1,246	1,796	1,817	2,260	37,425
31(1)	6,144	7,881	3,872	2,650	4,699	2,365	2,065	2,639	1,191	1,755	2,483	1,513	39,257
2	188	0	1,929	2,386	4,113	3,505	5,194	4,360	2,106	1,097	2,072	2,377	29,327
合 計													481,904

3-5 体験学習等利用状況

※令和2年度は新型コロナ感染対策のため体験学習等は実施せず、職員による実演・解説に変更

(1) 屋外体験

- ・登呂の“ムラ人”として遺跡案内を実施
- ・体験学習(火おこし、土器炊飯)の実施と解説
火おこし：実際に着火するまでの実演
土器炊飯：台付甕形土器のレプリカを使用して登呂遺跡で栽培していた可能性がある赤米を炊飯・試食に供している
※新型コロナ感染対策のため令和2年度は実施せず
- ・「屋外体験指導員」(会計年度任用職員：常置配置数1～4人)が対応
- ・「屋外体験指導員」の活動は、文化庁の「LivingHistory(生きた歴史体験プログラム)促進事業」を受けて、実施している

月	来場案内者	火起こし
4	1,780	227
5	0	0
6	5,130	659
7	6,110	1,251
8	8,580	1,468
9	8,135	1,962
10	11,755	4,335
11	13,670	2,618
12	5,690	1,689
1	3,982	652
2	5,140	1,294
3	6,063	1,579
合計	76,035	17,734

(2) 弥生体験展示室

- ・体験学習の実演(臼と杵による脱穀・穂摘み・田下駄)及び解説、パンフレットの配布
- ・貫頭衣着用・丸木舟・土器パズル等体験実施なし、展示のみ
- ・「体験指導員」(会計年度任用職員：常置配置数2～3人)及びボランティアスタッフが対応

(3) 図書コーナー

- ・登呂遺跡に関する資料、全国の博物館の展示図録や発掘調査報告書・歴史専門書・こども向けの歴史関連図書を配架
- ・特別展・企画展の関連資料等を陳列
- ・利用者 令和2年度：5,236人
- ・会計年度任用職員(常置職員数1～2名)が対応
※資料・図書等の貸出は行っていない

(4) 情報・映像コーナー

- ・登呂博物館が所蔵する遺物・図書の検索
- ・市内の観光案内などの情報の提供
- ・全国の博物館や公共施設等の催事情報を提供
- ・「子ども学芸員養成講座」による展示(8月)
- ・博物館実習生による展示(8月～9月)
- ・静岡市文化財課による展示(9月)
- ・静岡県埋蔵文化財センターによる展示(10月～12月)
- ・「トロペーの博物館案内」(映像案内)を常時上映

3-6 組織

静岡市観光交流文化局

文化財課（課長 岡村渉）

- ├ 文化財保護係
- ├ 埋蔵文化財係 - 埋蔵文化財センター
- ├ 三保松原文化創造センター
- └ 登呂博物館

登呂博物館職員

職名	氏名	主な業務内容
館長(登呂遺跡担当課長)	宮本 博之	総括
主査	梶山 倫裕*	展示、教育普及事業、水田活用
主任主事	鈴木 匡*	展示、教育普及事業、修理事業
	中村 匠吾	予算決算、博物館協議会、ミュージアムショップ
	國島 朋子	展示、教育普及事業、ボランティア、学校・市民団体連携
	川口 真浩	施設管理、遺跡管理、ホームページ更新
主事	佐野 佑奈	広報、マスコミ対応、キッズアートプロジェクト
会計年度任用職員	大原 裕子	庶務事務
	巻田 直紀	体験展示室での体験指導 団体見学者の対応 教育普及事業の実施、補助
	岡村 里美	
	糠谷 瑞穂	
	飯島 敬三～6月	
	栗田 佳和～7月	
	杉本八重子	図書コーナーでの案内、印刷物の作成など
	望月 礼子	
	杉山 純	
	長谷川健三	屋外での体験指導活動
	小野田善保	
	東川 和夫	
	桜井 喜一	

※の職員は教育委員会事務局教育局教育総務課の併任職員

その他

- 博物館ボランティア 48人（令和2年4月1日時点）
- 受付業務委託 静岡ビル保善株式会社
- ミュージアムショップ運営 大石商店

3-7 予算・決算

(1) 令和2年度歳入 ※予算額は年度当初の予算額(歳出も同様)

収入科目	予算額	決算額	備考
博物館使用料	5,816,000	3,753,050	博物館観覧料、博物館施設使用料(行政財産:電柱等)
文化財保護費補助金 (国庫補助金)	3,868,000	3,868,000	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金 (出土品保存修理事業、「登呂ムラ」発信事業)
博物館費補助金 (国庫補助金)	2,555,000	928,990	令和2年度文化芸術振興費補助金 (登呂博物館感染症防止対策事業)
土地貸付収入	3,167,000	3,120,582	一般土地貸付料(普通財産:駐車場土地ほか)
各種発行物売払収入	678,000	318,087	図録売払収入
教室等会費収入	239,000	310,600	講座・講演会参加料
雑収	104,000	195,378	社会教育費雑入(ミュージアムショップ光熱費)
合計	16,427,000	12,494,687	

(2) 令和2年度歳出

ア 公園管理費

支出科目	予算額	決算額	備考
需用費	768,000	607,486	
光熱水費	(670,000)	(509,586)	電気・水道代
(維)修繕料	(98,000)	(97,900)	登呂遺跡北側ガイダンストイレ修繕費
委託料	775,000	702,324	北側ガイダンス施設エレベーター保守委託ほか
合計	1,543,000	1,309,810	(ア)

イ 文化財保護費

支出科目	予算額	決算額	備考
<文化財保護管理費>			
旅費	53,000	42,930	修理事業文化庁監督旅費
需用費	1,326,109	1,266,047	
消耗品費	(18,000)	(0)	水田管理用品ほか
燃料費	(11,109)	(9,002)	耕運機燃料ほか
光熱水費	(399,000)	(359,445)	電気・ガス・水道代
(維)修繕料	(898,000)	(897,600)	遺跡修繕工事費
役務費	85,000	72,412	電話代ほか
委託料	5,819,000	5,819,000	遺跡清掃、植栽、修理業務委託ほか
委託料(政策)	3,600,000	3,564,000	登呂遺跡学びの広場芝生化
<文化財整備活用事業費>			
需用費	30,000	24,500	
消耗品費	(30,000)	(24,500)	農業用長靴(登呂ムラ屋外体験学習指導)
旅費	53,000	42,930	出土品修理の指導監督に係る旅費

委託料	3,413,000	3,412,060	重要文化財登呂遺跡出土品保存処理業務
合計	14,379,109	14,243,879	(イ)

ウ 給与費

支出科目	予算額	決算額	備考
報酬	184,000	184,000	博物館協議会委員報酬
合計	184,000	184,000	(ウ)

エ 博物館管理運営費

支出科目	予算額	決算額	備考
報償費	419,000	308,038	企画展関連講座、教育普及事業講師謝金ほか
旅費	504,000	103,336	展示準備関係旅費ほか
需用費	15,239,000	14,382,395	
消耗品費	(1,438,000)	(1,367,431)	一般事務及び管理用品ほか
印刷製本費	(1,552,000)	(1,368,446)	企画展ポスター・チラシほか
光熱水費	(7,737,000)	(6,496,240)	電気・水道代
(物)修繕料	(0)	(0)	物品等修繕料
(維)修繕料	(4,224,000)	(4,223,890)	博物館施設修繕工事費
役務費	2,674,000	1,477,968	電話代・クリーニング代ほか
委託料	25,158,510	23,600,689	施設管理のための業務委託ほか
使用料及び賃借料	6,267,000	6,133,742	複写機使用料、システム使用料ほか
備品購入費	150,000	40,000	脱穀機
負担金、補助及び交付金	105,000	93,000	日本博物館協会負担金ほか
委託料(政策)	1,500,000	1,463,000	登呂博物館燻蒸業務
需用費(政策)	1,080,000	383,999	
消耗品費	(1,080,000)	(383,999)	感染症対策用品(アルコール消毒液等)
備品購入費(政策)	3,150,000	1,638,560	感染症対策用品(空気清浄機等)
合計	56,246,510	49,624,727	(エ)

オ 観光総務費

支出科目	予算額	決算額	備考
負担金、補助及び交付金	0	0	登呂まつり補助金
合計	0	0	(オ)

カ 歳出総計

	予算額	決算額	備考
総計	72,352,619	65,362,316	(ア) + (イ) + (ウ) + (エ) + (オ)

4 展示

4-1 春季企画展「お米づくり、はじめました。－静岡市の弥生時代－」

会 期：令和2年3月20日(金祝)～6月14日(日)
 《37日間(10日間)》

※1 ()内は平成31年度の日数

※2 4月18日(土)～5月31日(日)は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館。上記日程を除いた期間を換算。

概 要：静岡市の歴史を紹介する展示の第二弾。静岡市内の弥生時代の遺物を中心に、「お米」の耕作具・収穫具・調理具などを、紹介した。

観覧者：718人(764人)

一 般 421人(512人)

高校生・大学生 25人(66人)

小学生・中学生 272人(186人)

※()内は平成31年度のみ的人数

点 数：156点

資料協力：静岡県埋蔵文化財センター
 静岡大学

印刷物：(1) チラシ

 サイズ：A4

 数 量：25,130枚

 紙 質：微塗工紙 四六判 90kg

(2) ポスター

 サイズ：B2、A2

 数 量：750枚、1,560枚

 紙 質：微塗工紙 四六判 110kg

(3) リーフレット

 構 成：A4 8頁 中綴じ

 数 量：3,000部

 紙 質：微塗工紙 四六判 110kg

担当：國島朋子



関連事業

(1) 講演会「弥生時代のお米づくりの調べかた」

【中止】

概要：発掘調査における時代の特定方法や、稲作跡の調査方法を、放射性炭素年代測定やプラント・オパール分析等の調査方法を交えて紹介する予定であった。

中止理由：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため。

日時：令和2年5月24日(日) 13:30 - 15:00

会場：登呂博物館1階 登呂交流ホール

講師：株式会社古環境研究所

代表取締役 松田隆二

料金：100円

(2) 種もみ・バケツ稲マニュアルプレゼント

概要：観覧者にバケツ稲の材料となる赤米の種もみと育て方のマニュアルをプレゼント。

日程：会期中の土日・祝日

対象：常設展・企画展両方を観覧した方

料金：無料

人数：442セット(定員なし)

備考：この企画に関連し、令和2年11月1日に「バケツ稲収穫量コンテスト」を開催

(3) バケツ稲収穫量コンテスト

概要：バケツ稲マニュアルプレゼントで配布した種もみでバケツ稲を育ててもらい、収穫できたお米の量を競った。

日時：令和2年11月1日(日) 14:00~16:10

対象：バケツ稲マニュアルをもらった方

料金：無料

人数：3組

(4) 展示解説

日程：6/14(日)

※4/12(日)、5/2(土)は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

時間：11:00-、14:00-

会場：登呂博物館2階 特別・企画展示室

料金：無料(要観覧料)

人数：17人(30人) ※ ()内は平成31年度の人数

広報・報道 ※平成31年度分を含む

(1) テレビ・ラジオ

・NHK 静岡 3/21(土) 12:00-、18:45-

・東海ケーブルネットワーク

3/24(火) 12:00-、17:00-

(2) 新聞

・静岡新聞「弥生人の生活 出土品で紹介」

3/22(日)

・静岡新聞「大自在」3/25(水)

(3) その他

・静岡市広報紙『静岡気分』3月号

・『すろーかる』3月号 ~ 5月号

・『すろーかる』3月号(広告)

・静岡鉄道電車中吊り広告

(2/29(土) ~ 3/27(金))



4-2 夏季企画展「実測」

会 期：令和2年7月4日(土)～9月13日(日)
 《62日間》

概 要：これまで大々的に焦点を当てられてこなかった実測図に関する展示。考古学的な実測という作業の重要性和、優れた技術で描かれた実測図自体の素晴らしさを紹介する。

観覧者：6,695人

一 般 3,949人

高校生・大学生 302人

小学生・中学生 2,444人

点 数：122点

資料協力：デッサン依頼（山下文氏）
 額制作依頼（田形額工房）
 静岡市立芹沢銈介美術館



印刷物：(1) チラシ

 サイズ：A4

 数 量：11,520枚

 紙 質：微塗工紙 四六判 86kg

(2) ポスター

 サイズ：B2片面、A2片面

 数 量：B2 440枚、A2 1,560枚

 紙 質：マットコート紙 四六判 110kg



担当者：鈴木匡

関連事業

(1) ワークショップ「実測してみよう！」

概要：遺構（住居跡）と遺物（土器）の実測を行う。

日時：令和2年7月25日（土）13:00 - 16:00

会場：登呂博物館1階 交流ホール、弥生体験展示室

講師：静岡市文化財課 菊田氏

元登呂博物館職員 浅野氏

登呂博物館職員 梶山 鈴木

料金：100円

人数：8人（定員 小学4年生以上10名）

(2) 実測作業見学

概要：通常は埋蔵文化財センターで行っている実測作業を登呂博物館で行ってもらい、その作業風景を見てもらう。

日時：令和2年8月15日（土）9:30 - 16:00

会場：登呂博物館1階 登呂交流ホール

講師：文化財課 菊田氏

料金：無料

人数：定員なし（当日来館者数563人）

(3) 展示解説

日程：7/11（土）、8/8（土）、9/5（土）、

時間：11:00-、14:00-

会場：登呂博物館2階 特別・企画展示室

料金：無料（要観覧料）

人数：77人

報道・広報

(1) 新聞

・静岡新聞「遺跡や出土品 記録後世に」7/6（月）

(2) その他

・静岡市広報紙『静岡気分』7月号

・『すろーかる』6月号 7月号～9月号

・「リビング静岡」令和2年8月号

・「山梨日日新聞」（広告）

・JR 静岡駅構内ポスター掲出



4-3 秋季企画展「水とともに生きる- 静岡平野のパイオニア -」

会 期：令和2年10月3日(土)～11月29日(日)

≪50日間≫

概 要： 大規模な治水が未発達な時代、沖積平野で集落を形成し、水を巧みに利用しながら社会や水田を発達させていく様子や、相次ぐ洪水被害も受けながらも、稲作農耕へ執着し、社会を維持させていった当時の様相から、登呂ムラをはじめとする弥生時代の遺跡における治水、水利等「水」とのかかわり方に迫りたい。



観覧者：5,812人

一 般	2,810人
高校生・大学生	126人
小学生・中学生	2,876人



点 数：107点

資料協力：伊豆の国市郷土資料館
静岡県埋蔵文化財センター

印刷物：(1) チラシ

サイズ：A4

数 量：11,520枚

紙 質：コート紙 四六判 90kg

(2) ポスター

サイズ：B2、A2

数 量：440枚、1,560枚

紙 質：マットコート紙 四六判 110kg



担当者：梶山倫裕

関連事業

(1) フィールドワーク&レクチャートーク「環境をよむ～自然との対話～」

概要：別に古代から現代にかけての静岡清水平野での治水について、全4回のリレー講演会を開催する。そちらが講義形式なのに対し、フィールドワークと座談会で、リレー講演会の内容を身体的に体感する内容とする。

日時：令和2年11月29日(日) 10:30 - 15:30

会場：登呂博物館1階 登呂交流ホール
登呂遺跡～大谷海岸

講師：静岡大学准教授 鈴木 雄介
京都大学准教授 瀬戸口 明久

料金：1,000円

人数：10人(定員15人)

(2) 登呂博物館リニューアルオープン

10周年記念 登呂歴史リレー講演会

「水を治める者たち～水がつなぐ静岡の歴史～」

概要：

日時：各回 13:30～15:00

第1回 令和2年10月11日(日)

第2回 令和2年10月25日(日)

第3回 令和2年11月7日(土)

第4回 令和2年11月22日(日)

会場：登呂博物館1階 登呂交流ホール

講師：

第1回 柴 正博

(ふじのくに地球環境史ミュージアム客員教授)

第2回 篠原 和大

(静岡大学 人文社会科学部 教授)

第3回 柴 雅房

(静岡県地域史研究会 会員)

第4回 藤原 健史

(静岡県静岡土木事務所 企画検査課)

料金：無料

人数：45人+関係者

(3) 展示解説

日程：10/3(土)、11/1(日)、11/28(土)

時間：11:00～、14:00～

会場：登呂博物館2階 特別・企画展示室

料金：無料(要観覧料)

人数：94人

広報・報道

(1) 新聞

・静岡新聞「芹沢銈介収集の考古資料並ぶ」
11/2(火)

(2) その他

・静岡市広報紙『静岡気分』10月号
・『すろーかる』10月号、11月号

・「リビング静岡」(9/27)



4-4 冬季企画展「ちっちゃ」展

会 期：令和3年1月9日（土）～ 2月28日（日）
 《42日間》

概 要：考古学資料の中でも、今回は、普段目立たないけれど、よく見ると可愛い、きれいなど、愛着が湧くような小さい資料にスポットを当てた。大きさを比べると「ちっちゃ」なものや、大きさが決まっている「ちっちゃ」なもの、また、人々の想いが込められた「ちっちゃ」なものを紹介した。



観覧者：2,885人

一 般	1,601人
高校生・大学生	165人
小学生・中学生	1,119人

点 数：450点



資料協力：静岡県埋蔵文化財センター

北杜市教育委員会、韮崎市教育委員会
株式会社タミヤ、株式会社月志
榛東村耳飾り館
盛岡市教育委員会（盛岡市遺跡の学び館）
佐久穂町教育委員会

印刷物：（1）チラシ

サイズ：A4

数 量：15,100枚

紙 質：微塗工紙 四六判 90kg

（2）ポスター

サイズ：B2、A2

数 量：330枚、1,560枚

紙 質：微塗工紙 四六判 110kg



担当者：國島朋子

関連事業

(1) 講演会「縄文」×「ちっちゃ」

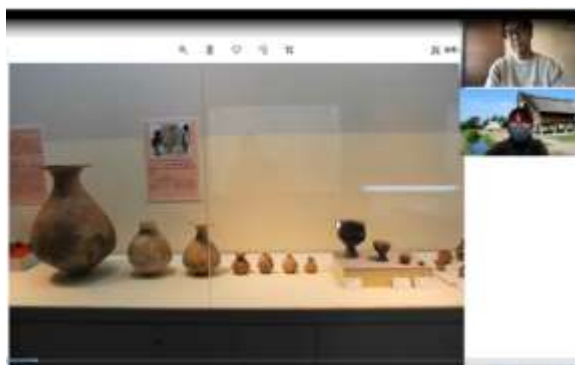
概要：考古学資料の「かたち」から見てもらうことで、考古学へのハードルを高いと感じる方にも考古学を楽しんでもらった。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、Zoom形式で実施した。

日時：令和3年1月30日（土）13:30-15:10

会場：登呂博物館1階 登呂交流ホール

料金：無料

人数：71人



(2) 南部生涯学習センター共催事業イベント

「親子で参加しよう！『ちっちゃ』作り・展示体験」

【中止】

日時：令和3年1月23日（土）10:00-14:30

会場：登呂博物館1階 登呂交流ホール・
南部生涯学習センター

料金：無料

概要：考古学の「ちっちゃ」い出土品を解説した上で、テラコッタ粘土を使って自由に「ちっちゃ」いものを作り、展示の理解を深めながら考古学の出土品を身近に感じてもらう。

中止理由：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため

(3) 展示解説

日程：1/9（土）、2/14（日）、2/28（日）

時間：11:00-、14:00-

会場：登呂博物館2階 特別・企画展示室

料金：無料（要観覧料）

人数：97人

広報・報道

(1) テレビ・ラジオ

・SBS ラジオ 1/22（金）

※講演会講師の望月氏による電話出演

(2) 新聞

・静岡新聞「『ちっちゃ』な出土品に光」1/10（日）

・静岡新聞「『ちっちゃ』な考古学の世界」1/17（日）

・読売新聞 2/19（金）

(3) 雑誌他

・静岡市広報誌『静岡気分』1月号

・『すろーかる』12月号～2月号

4-5 令和3年度春季企画展「前方後円墳がやってきた。— 静岡市の古墳時代 —」

会 期：令和3年3月20日(金・祝)～6月13日(日)
 《74日間(10日間)》
 ※次年度へ継続。()内は令和2年度の日数

概 要：静岡市の歴史を紹介する展示の第三弾。静岡市を中心とした古墳時代を紹介する。



観覧者： 8,055人(1,074人)
 一 般 3,738人(667人)
 高校生・大学生 210人(92人)
 小学生・中学生 4,107人(315人)
 ※()内は令和2年度のみ的人数



点 数：300点

資料協力：静岡県埋蔵文化財センター 静岡大学
 焼津市教育委員会 浜松市教育委員会

印刷物：(1) チラシ
 サイズ：A4
 数 量：10,400枚
 紙 質：コート紙 四六判 90kg
(2) ポスター
 サイズ：B2、A2
 数 量：440枚、1,560枚
 紙 質：コート紙 四六判 110kg
(3) リーフレット
 構 成：A4 8頁 中綴じ
 数 量：2,000部
 紙 質：マットコート紙 四六判 90kg



担当者：鈴木匡

関連事業 ※令和2年度分を含む

(1) フィールドワーク「谷津山の古墳へピクニック」

概要：静岡市葵区にある谷津山（標高108m）へ上って、前方後円墳などの古墳を見学する。

日時：令和3年4月3日(土) 11:00 - 12:00

会場：谷津山（静岡鉄道音羽町駅集合）

人数：9人

講師：登呂博物館職員 鈴木

料金：無料

(2) ワークショップ「前方後円墳をつくろう」

概要：古墳のかたちを学びながら、粘土や砂を使って小さい前方後円墳を工作します。

日程：令和3年4月24日（土）

時間：10:00-11:30

料金：100円

人数：8人

(3) 講演会「古墳のかたちとつくり方」

概要：前方後円墳の不思議なかたちやつくり方の謎を解き明かします。

日程：令和3年5月22日（土）

時間：13:30-15:00

会場：登呂博物館1階 登呂交流ホール

講師：國學院大學教授 青木敬

人数：36人

費用：100円

(4) 展示解説

日程：4/10(土)、5/8(土)、6/5(土)

時間：11:00-、14:00-

会場：登呂博物館2階 特別・企画展示室

料金：無料（要観覧料）

人数：139人

広報・報道

(1) テレビ・ラジオ

・NHK 静岡 4/7(水)

たっぷり静岡みつけた

(2) その他

・静岡市広報紙『静岡気分』3月号

・『すろーかる』3月号～5月号

・『タウン新聞静岡』4月号

・『ミュージアム通信』3月号

・静岡県文化財団『グランシップマガジン 25号』



4-6 特別展・企画展開催実績（リニューアル後） ※網掛けは特別展

年度	会期	展覧会名	観覧者数
22	2010.10.3～12.5	ひらけ！弥生の扉 弥生人の脳に刻まれた記憶	16,413
	2010.12.18～2011.1.30	うつわ展	4,595
	2011.2.19～3.27	子どもたちの考古学 考古学はじめての一步	5,817
23	2011.4.23～6.19	復元された古代建物 はじまりは登呂遺跡	18,937
	2011.7.9～9.4	登呂遺跡発掘物語 子どもたちに伝えよう登呂遺跡の価値	11,833
	2011.9.23～10.30	発掘された日本列島 2011	8,780
	2011.11.10～12.4	古代へのまなざし 芹沢銈介が愛した縄文・弥生	4,006
	2011.12.17～2012.1.27	弥生ファッションショー	3,766
	2012.2.11～3.20	赤い土器の世界 登呂式土器の赤彩を探る	4,070
24	2012.4.21～7.1	わがまちの遺跡展 登呂のとなりムラ鷹ノ道遺跡	13,877
	2012.7.14～9.23	登呂博物館開館 40 周年記念展 登呂遺跡はじめて物語 ～40 メモリーズ～	12,410
	2012.10.6～12.9	舟の力 ～古代人があこがれたノリモノ～	7,275
24-25	2013.1.12～6.30	米づくりの今昔 ～見て、触って、動かす農具～	29,972
25	2013.7.13～9.23	登呂のうた	8,881
	2013.10.5～12.8	特別史跡登呂遺跡発見 70 周年記念 弥生の戦い ～その時登呂ムラは!?!～	5,925
25-26	2014.1.11～6.29	静岡の水田遺跡	23,787
26	2014.7.12～9.28	きっかけは登呂遺跡	9,392
	2014.10.11～12.7	縄文そして登呂 ～八ヶ岳山麓から駿河湾まで～	5,103
26-27	2015.1.17～6.21	祭礼のかたち	20,582
27	2015.7.11～9.23	豊かな水源に生きる	8,767
	2015.10.10～12.7	登呂のいす展	4,261
27-28	2016.1.16～5.29	登呂の食事情	21,211
28	2016.6.18～9.4	重要文化財登呂遺跡出土遺物展	8,983
	2016.9.17～12.4	弥生×登呂	6,949
	2017.1.7～3.5	静岡考古展	4,520
28-29	2017.3.18～6.4	石の刃物 鉄の刃物	13,559
29	2017.6.24～9.3	登呂発掘と静岡市の近現代	8,747
	2017.9.30～11.26	東海土器五十三次展	4,748
	2018.1.6～3.4	こだいの「ふふっ」展	5,011

年度	会期	展覧会名	観覧者数
29-30	2018.3.21~6.10	ウトウ・トロ・タカノミチ	14,025
30	2018.6.30~9.9	富士山がみえる	7,008
	2018.9.29~12.16	平成×登呂	5,155
	2019.1.12~3.3	登呂をとめ 安倍をとこ	3,121
30-31	2019.3.23~6.16	石をつかった、土器をつくった。ー静岡市の旧石器・縄文時代ー	15,276
1	2019.7.13~9.8	FIRE	6,697
	2019.10.5~12.1	芹沢銈介と考古(学)	4,139
	2020.1.11~3.1	古墳のきらめき ー賤機山古墳展ー	3,650
1-2	2020.3.20~6.14	お米づくり、はじめました。 ー静岡市の弥生時代ー	1,482
2	2020.7.3~9.13	実測	6,695
	2020.10.3~11.29	水とともに生きる	5,812
	2021.1.9~2.28	「ちっちゃ」展	2,885
2-3	2021.3.20~6.13	前方後円墳がやってきた	8,055

4-7 通常展示

(1) 常設展示室 (博物館2階)

概要：登呂遺跡にあった集落(ムラ)の生活を紹介する展示室。

平成11年から15年にかけて行われた登呂遺跡再発掘調査の成果を示しながら、ムラを再現したジオラマや映像媒体などを使った、直感的な展示を行っている。日本考古学史上大きな役割を果たした登呂遺跡の発掘調査について、当時発掘にかかわった人々へのインタビュー映像や新聞記事などの資料で分かりやすく伝えている。

また、平成28年に国の重要文化財に指定された出土品も数多く展示されている。

資料：重要文化財登呂遺跡出土品など

点数：約350点



(2) 弥生体験展示室(博物館1階)

概要：登呂博物館の特徴の一つである「体験学習」を行うための展示室。

弥生時代の登呂ムラを再現している。壁に描かれた風景と、復元された建物・道具によって、登呂ムラの様子が復元されている。従来は貫頭衣試着体験や、弥生時代の米づくりの体験が可能なスペースとし、当時使われていた様々な道具を実際に手に取り使用できた。しかし、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、令和2年度は貫頭衣試着体験・道具を手に取る体験を中断し、米づくり体験は職員や博物館ボランティアが実際にやって見せる形とした。

博物館1階は無料で体験できる。



5 保存活用

5-1 修理事業

(1) 登呂遺跡出土品

登呂遺跡は昭和18年に発見された弥生時代後期の集落跡及びそれに隣接する水田跡を中心とした遺跡。戦後の昭和22年から25年にかけては、各大学の連携による学際的で大規模な調査が行われた。その調査は学史的にも有名なものである。

出土品は、土器と木製品が中心で、これらが「弥生時代の生業や集落の実態を初めて学界に示した遺跡からの出土品で、戦前から戦後にかけての日本考古学の研究史を語るうえで欠かせない資料」として、775点が平成28年に重要文化財に指定された。

(2) 修理概要

出土品は保存処理が行われておらず脆弱な状態のものが多いため、平成30年度から保存修理事業を開始した。まずは14年間をかけて木製品を中心とした459点の修理を行う。

修理は、出土品にとって優しく必要最低限なもので、可逆的な方法で実施する。

所有者：静岡市（実施：静岡市教育委員会）

期 間：平成30年度～令和13年度

費 用：文化庁補助金(1/2)、静岡市(1/2)

対 象：459点

(3) 基本的な修理方法

ア 記録

将来的な再処理も見据えて、事前の記録、処理工程・使用薬剤の記録、事後の記録などを確実にとる。

イ クリーニング

資料に損傷を与えない方法で表面に付着する汚れを除去する。

ウ 安定化処理・修復

基本的に樹脂を含侵させて、資料を強化する。ただし、素材やその状態に応じて処理内容を検討する。

亀裂があるものや折れているものは、樹脂含侵に加えて損傷部の補填・接合を行う。

エ 保存

一部の脆弱な資料について、保存台を作成する。

(4) 令和2年度実績

数 量：31点（保存台2点作成）

修 理：静岡県埋蔵文化財センター

運 搬：日本通運株式会社静岡支店

指導監督：文化庁文化財第一課

経 費：3,467,450円

5-2 資料貸出（出土品等）

- (1) 貸出先：大阪府立弥生文化博物館
展示名：「弥生農耕 - 田んぼとはたけ-」
期 間：令和2年10月10日（土）～ 令和2年12月13日（日）
対 象：土器、石器
数 量：12点（重要文化財含む）

5-3 寄贈

- (1) 対 象：台はかり（付属分銅付）
数 量：1点
寄贈者：個人

- (2) 対 象：犁一式 竿秤 付属分銅
数 量：5点
寄贈者：個人

- (3) 対 象：土器片、新聞記事、登呂遺跡関連雑誌など（望月コレクション）
数 量：6,025点
寄贈者：個人

6 教育普及

6-1 主催事業

(1) 登呂遺跡復元水田活用事業（団体水田）

概要：遺跡内にある復元水田を市民団体・学校団体等に貸し出し、赤米などの稲作を行う。弥生時代の景観を復元・維持し、水田での活動を体験する場所を提供する。

期間：令和2年4月～令和2年12月

会場：復元水田

料金：無料

参加者：15団体



(2) 市民水田「登呂遺跡の田んぼで赤米づくり体験」

概要：個人を対象に小区画水田を貸し出し、田起こしから赤米の田植え・脱穀・粃摺りまでの稲作体験を行う。

期間：令和2年4月～令和2年12月

会場：復元水田

料金：3,000円

参加者：27組（定員25組）



(3) 呈茶サービス

概要：静岡ならではの「おもてなし」としてGW期間中の来館者に冷茶をふるまう。

日程：令和2年5月2日(土)～5月5日(火)

会場：登呂博物館1階 登呂交流ホール

※新型コロナウイルスの影響により中止

(4) 田植え・田下駄体験

概要：復元水田に赤米の苗を植える。また、水田で田下駄を履く体験も同時に行う。

日時：令和2年6月13日(土)、14日(日)、20日(土)、21日(日)、27日(土)、28日(日)、7月5日(日)の7日間

会場：復元水田

料金：100円

人数：178人（定員なし）



(5) 登呂遺跡の田んぼで生物観察

概要：復元された登呂遺跡で生物観察を行う。

日時：令和2年7月18日(土) 10:10 - 12:30

会場：登呂博物館1階 登呂交流ホール、登呂遺跡

料金：100円

人数：7人(定員10人、当日キャンセル3人)

協力：常葉大学教育学部 久留戸教授、同研究室学生7人
静岡市環境学習指導員 守屋司子



(6) 田園コンサート

概要：高校生による遺跡でのコンサート

日程：令和2年7月23日(木祝)、24日(金祝)

会場：登呂遺跡

協力：駿河総合高校吹奏楽部、静岡西高校吹奏楽部



(7) 子ども学芸員養成講座

概要：考古学系の学芸員の仕事(発掘・測量・拓本・展示)を体験する。

日程：令和2年8月5日(水)、8月12日(水)、19日(水)
(全3回)

会場：登呂博物館1階 登呂交流ホール、登呂遺跡

料金：300円

人数：12人(定員12人、小学5年生～中学3年生)



(8) 夏休み自由研究お助け隊!

概要：自由研究向けのワークショップを行う。

ア プラモデルで登呂遺跡をつくる

イ うちわ作り

日時：ア 令和2年8月18日(火) 10:10-15:10

イ 令和2年8月20日(木) 10:00-14:15

会場：登呂博物館1階 登呂交流ホール

料金：ア 1,200円 イ 800円

人数：計17人

ア 5人(定員なし)

イ 12人(定員10人、小学2年生以上)



(9) 丸木舟に乗ろう！

概要：とろムラ体験フェスティバルの代替として行った。

日時：令和2年8月9日(日)

① 10:00~12:00 ② 13:00~15:00

会場：登呂博物館、登呂遺跡

料金：無料

人数：計102人



(10) 登呂遺跡で生物観察2

概要：復元水田でアメリカザリガニを釣る。

日時：令和2年8月22日(土)

① 9:30~11:20 ② 13:30~15:20

会場：登呂遺跡 復元水田

料金：100円

人数：35人(定員20組)



(11) へそもちづくり

概要：静岡県の風習で十五夜に供える「へそもち」を、登呂遺跡で収穫した赤米を混ぜてつくる。

※新型コロナウイルスの影響により中止

(12) 土笛づくり

概要：粘土から整形、乾燥、野焼きを行い、土笛をつくる。

※新型コロナウイルスの影響により中止

(13) ドロン子パーク

概要：より小さな子どもたちに、登呂遺跡の水田に親しみをもってもらえるようにするため。

期間：令和2年8月29日(土)~9月27日(日)の間の土日祝

会場：登呂遺跡内復元水田

参加者：一般…686人、幼稚園等…349人



(13) 秋の田園コンサート

概要：地域の人が登呂遺跡・登呂博物館に親しみ、遺跡の新たな魅力を感じられる場として、周知する。

期間：令和2年10月3日(土)、10月18日(日)

会場：登呂遺跡

協力：城南静岡高校・高松中学校・静岡西高校

静岡西高校・城南静岡高校・駿河総合高校



(14) リニューアル 10 周年写真展「登呂の軌跡 登呂という奇跡」

概要：登呂遺跡発見から現在までの、登呂遺跡の歴史を写真で振り返る。

期間：令和 2 年 10 月 1 日(木)～11 月 29 日(日)

会場：登呂博物館 2 階 通路



(15) よるのはくぶつかん

概要：博物館の夜間特別会館に加え、遺跡のライトアップ等も行った。

期間：令和 2 年 10 月 30 日(金) 18:00～20:00

会場：登呂遺跡・登呂博物館

人数：69 人

協力：アカリノワ 大村大輔氏
城南静岡高校地域貢献部



(16) 稲刈り・脱穀体験・石器づくり体験

概要：石包丁を使った稲刈り（穂摘み）と簡易的な脱穀・粃摺りを体験する。

日時：令和 2 年 11 月 1 日(日)、3 日(火祝)、7 日(土)、8 日(日)、14 日(土)、15 日(日)、21 日(土)、22 日(日)、23 日(月祝)、27 日(土)、28 日(日)

会場：復元水田

料金：100 円

人数：石器づくり 251 人（定員なし）
稲刈り 688 人



(17) しめ縄づくり「お正月は手作りのしめ縄で」

概要：復元水田で収穫した稲の藁でしめ縄を作る。

日時：令和 2 年 12 月 20 日(日) 9:30 - 12:30

会場：登呂博物館 1 階 登呂交流ホール

講師：増田作一郎

料金：300 円

人数：48 セット約 80 人



(18) お年玉プレゼント

概要：常設展観覧者に対し、登呂遺跡復元水田で収穫した稲穂を小袋に入れたものを配布した。

日程：令和3年1月5日(火)、6日(水)

場所：登呂博物館2階 常設展示室前

料金：無料

数量：1日目：66個、2日目：28個（先着：100個）



(19) どんど焼き

概要：しめ縄づくり体験で作成したしめ縄を焚き上げ、豊穰を祈願する。

日時：令和3年1月10日(日) 10:30 - 11:30

場所：登呂遺跡

料金：無料

人数：60人（定員なし）



(20) 弥生土器づくり

概要：粘土を積み、野焼きをして弥生土器を完成させる。

日程：令和3年2月6日(土)、7日(日)、3月7日(日)
(全3回) 9:30~15:00

会場：登呂博物館1階 登呂交流ホール、登呂遺跡

講師：弥生人体験クラブ 大川洪文

料金：300円（土器づくり）／100円（ミニチュア土器）

人数：19人（定員20人、小学生以上、低学年は保護者同伴）
63人（ミニチュア土器、定員48人）



(21) 木のお皿づくり【中止】

概要：登呂遺跡から出土した皿形木製品に近い形のお皿をつくる。

日時：令和3年3月21日(日) 10:00 - 15:00

会場：体験学習サポート施設

講師：すまうと 野木村敦史

料金：700円

定員：15人（小学4年生以上）

※新型コロナウイルスの影響で中止。

6-2 共催・連携事業

(1) 静岡市文化財展

概要：前年度に静岡市内から出土した資料などを展示。

会期：令和2年9月10日(木)～29日(火)

会場：登呂博物館1階 情報・映像コーナー

連携先：静岡市文化財課



(2) 第57回登呂まつり

概要：登呂遺跡の歴史文化を紹介し、地域の活性化を図るためのまつり。

日程：令和2年10月10日(土)、11日(日)

会場：登呂遺跡

連携先：登呂会

※新型コロナウイルスの影響により中止

(3) はびまカフェ

概要：登呂博物館10周年記念イベントの一環として、飲食・物販・体験イベントを実施。

日程：令和2年11月8日(日) 10:00～15:00

会場：登呂遺跡・登呂博物館

連携先：はびましずおか



(4) しずおかサイエンスアドベンチャー2020

概要：発掘体験をとおして科学的な視点から古代の人々の暮らしについて考えるワークショップ。

日程：令和2年11月15日(日) 13:30～15:30

会場：登呂博物館1階 登呂交流ホール

参加者：24人

連携先：静岡科学館る・く・る



(5) ほんのひろば

概要：移動図書館車ぶっくるによる本の閲覧、貸出し 無線による図書館の業務端末を持参してもらい、貸出し等の業務を行う。

日時：令和2年11月15日(日) 10:00～15:00

会場：登呂遺跡 学びの広場

参加者：大人69人、子ども63人

連携先：市立中央図書館 移動図書館車 ぶっくる



(6) 登呂ミュージアムストリート Vol.2

概要：3館連携でスタンプラリーを実施。会期中、収穫した稲藁を再利用して「みごほうぎ」を作り、登呂遺跡での稲作やとろムラで行われた「再利用」について紹介。

会期：令和2年10月24日(土)～11月23日(月祝)

日時：令和2年10月24日(土)

① 10:00～11:30 ② 13:00～14:30

会場：登呂博物館

料金：300円

人数：17名

連携先：芹沢銈介美術館、駿府博物館



(7) アートロ「小屋をつくる。ムラをつくる。」

概要：水田で育てている稲から米を収穫するだけでなく、稲藁の活用も考えてみる企画。

会場：登呂遺跡

期間：令和3年3月14日(日) 9:30～16:30

参加者：14人

連携先：登呂会議 伊達剛



6-3 講師派遣・出張講座

(1) 市政出前講座 「静岡市の宝・登呂遺跡 ～充分(重文)知ってる?その魅力～」

概要：静岡を代表する遺跡である登呂遺跡について解説する。

ア 静岡大学教育学部

日時：令和2年7月28日(火) 9:00 - 10:00

講師：主任主事 國島

人数：18人

イ 静岡大学教育学部

日時：令和2年7月31日(金) 9:00 - 10:00

講師：主任主事 國島

人数：17人

(2) サイエンスピクニック

概要：静岡科学館る・く・るが主催する自然科学分野の団体が集まるイベントにブースを出展した。令和2年度は、土器の模様作成についての体験を行った。

日時：令和3年3月6日(土) 10:00～16:00

会場：静岡科学館 る・く・る

講師：会計年度任用職員 巻田直紀



7 職場体験・博物館実習等

7-1 職場体験

中学生の職場体験について、例年は各校おおむね3日程度、一校あたり最大3人で受け入れているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、職場体験が静岡市全体として中止となった。

7-2 視察等受入

令和2年度は受け入れ団体が無しであった。

7-3 博物館実習

概要：学生を受け入れ、学芸員資格取得のために必要な博物館実習を実施した。

期間：令和2年8月7日(金)～14日(金)≪7日間≫

人数：10人(定員10人)

(内訳) 青山学院大学1 八洲学園大学1 鶴見大学1 桜美林大学1 筑波大学1
静岡大学1 京都芸術大学1 京都橘大学1 東海大学1 京都先端科学大学1

内容：1日目 概要説明、体験学習、教育普及案発表
2日目 梱包、収蔵庫見学、写真撮影
3日目 体験イベント補助、展示計画
4日目 教育普及事業案検討、展示計画
5日目 保存処理施設見学、体験イベント補助、展示計画
6日目 展示準備
7日目 展示準備、展示・発表

8 広報

8-1 広報印刷物

(1) 登呂遺跡・登呂博物館パンフレット

登呂遺跡及び登呂博物館の概要を紹介。英語版、簡体字版、繁体字版、韓国語版も用意。

仕様：マットコート紙 四六判 110kg、210×396mm（仕上 210×99mm）、蛇腹折り（四つ折り）



(2) 登呂遺跡イラストマップ

わかりやすいイラストで登呂遺跡を紹介。

仕様：上質紙 四六判 70kg、A4判（両面印刷）



(3) 年間スケジュール

仕様：マットコート紙 四六判 90kg、A4判（三つ折り）

部数：20,000部

備考：A3判の紙を使い、裏面には芹沢銈介美術館の年間スケジュールを掲載。（今回から）



(4) その他

各種教育普及事業のチラシを適宜作成し、館内に配架したほか、市内小中学校や公共施設、近隣の町内会等に発送。

8-2 ウェブサイト・SNS

(1) 登呂博物館ホームページ

平成 22 年度より運用を行ってきた登呂博物館のホームページを一新。令和 2 年 1 月に新しいホームページを公開した。登呂博物館及び登呂遺跡の概要や利用案内、アクセス方法等のほか、各企画展やイベントの情報、お知らせ等を配信する。(https://www.shizuoka-toromuseum.jp)



(2) こどもトロベーパーク

令和 2 年 3 月、登呂遺跡の概要を小学生にもわかりやすく説明するウェブサイト「こどもトロベーパーク」を公開した。(https://www.shizuoka-toromuseum.jp/torobepark-info/)



(3) 登呂博物館 Twitter

登呂博物館の公式 Twitter アカウントを開設。令和元年 10 月より投稿を開始した。登呂博物館で行われる企画展やイベントに関する最新情報のほか、登呂遺跡の日常風景等を主に写真付きで配信する。(https://twitter.com/torohaku_torobe)



8-3 報道・広告等

(1) テレビ・ラジオ

- ・区役所内広告付き窓口案内表示にて企画展やイベント情報を放映
- ・静岡第一テレビ『静岡ダイスキTV～#22』5/29
- ・SBS 静岡放送『Sole いいね!』「いいね! 3分ダイキくん」7/3
- ・SBS 静岡放送『Sole いいね!』「いいね! 3分ダイキくん」8/18
- ・NHK 静岡放送『ニュース』8/22
- ・SBS 静岡放送『Sole いいね! 「いいね! 3分ダイキくん」』8/25
- ・静岡朝日テレビ『とびっきり!しずおか』8/29
- ・SBS 静岡放送『Sole いいね!』「いいね! 3分ダイキくん」9/8
- ・SBS 静岡放送『Sole いいね!』「いいね! 3分ダイキくん」9/15
- ・SBS 静岡放送『Sole いいね!』「いいね! 3分ダイキくん」9/29
- ・SBS 静岡放送『Sole いいね!』「いいね! 3分ダイキくん」10/6
- ・SBS 静岡放送『Sole いいね!』「いいね! 3分ダイキくん」10/13
- ・テレビ静岡『ただいま! テレビ』10/27
- ・テレビ静岡『ただいま! テレビ』10/28
- ・静岡朝日テレビ『霜降り明星のあてみなげ』11/24
- ・静岡朝日テレビ『アタック25』1/24
- ・SBS 静岡放送『Sole いいね!』「いいね! 3分ダイキくん SP!」3/8

(2) 新聞

- ・静岡新聞「遺跡や出土品記録後世に」(夏季企画展) 7/6
- ・毎日新聞「コンクール中止 高校生が演奏会」(田園コンサート) 7/24
- ・静岡新聞「田園に響く吹奏楽の音色」(田園コンサート) 7/25
- ・静岡新聞「田園に音色染み入る」(田園コンサート) 8/12
- ・静岡新聞「弥生時代の水田で泥遊び」(ドロロン子パーク) 8/26
- ・静岡新聞「プラモで遺跡学習」(プラモデル体験) 9/2
- ・静岡新聞「田園に吹奏楽の音色」(田園コンサート) 10/4
- ・静岡新聞「登呂遺跡の歩み写真で振り返るリニューアル10周年」(写真展) 10/4
- ・静岡新聞「登呂博物館でグッズなど販売 新装10周年マルシェ」11/11
- ・静岡新聞「登呂遺跡で読書の秋 司書が絵本読み聞かせ」(移動図書館) 11/17

- ・読売新聞「日本史アップデート 始まりは弥生土器以前」11/24
- ・読売新聞「「ちっちゃ」な出土品に光」(冬季企画展) 1/10
- ・静岡新聞「「ちっちゃ」な考古学の世界 登呂博物館装飾品や土偶 450 点」
- ・読売新聞「弥生時代へ時を戻そう」1/28

(3) 雑誌等

ア 有料広告

- ・『るるぶこどもとあそぼ! 夏休み首都圏版'20 (5月)
- ・静岡鉄道 ポスターセット掲出 (8/15~8/21)
- ・山梨日日新聞 (7/18)
- ・山梨日日新聞 (9/18)
- ・『2021 静岡市成人式パンフレット』
- ・『歴史道2020年』(11/6)
- ・『るるぶ こどもとあそぼ! 首都圏版'21』(2月)
- ・『冬ぴあ 首都圏版2020年』(10月)
- ・デイリースポーツ新聞 (12/15, 12/18~12/23)
- ・久能山東照宮案内版
- ・『新東名自動車道清水SA上下線リーフレットチラシ』(2月)
- ・「わお! マップ 静岡市エリア」(1月初旬)
- ・『こどもとおでかけ365日』(1月下旬)
- ・『ぴあ こどもとおでかけ365日』(1月下旬)
- ・縄文ZINE12号 (3月)

イ 無料広告・掲載 (主なもの)

- ・静岡のクチコミタウン情報サイト「静岡ナビッチ」
- ・『GRANSHIP』(ふじのくに文化情報センター)
- ・『すろ〜かる』(すろーらいふ)
- ・「広報しずおか 静岡気分」(静岡市広報課)
- ・『日本歴史』(日本歴史学会)
- ・『ミュージアム通信』(特定非営利活動法人キッズアートプロジェクトしずおか)
- ・『SHIZUOKA PASSPORT』(富士山静岡空港 クーポン WEB サイト & 冊子) (株式会社しずおかオンライン)
- ・『Womo』
- ・『るるぶ 静岡 清水 浜名湖 富士山麓 伊豆'21』(株式会社 JTB パブリッシング)
- ・『しずおかのほほん子育て応援マップ』(子ども未来課)
- ・「タウン新聞しずおか」『リビング静岡』(静岡リビング新聞社)
- ・『東海じゃらん 香り立つ春ドライブ』(株式会社リクルート)

(4) ウェブサイト・その他 (主なもの)

- ・登呂博物館ホームページ
- ・静岡市ホームページ、静岡市 Facebook、静岡市 Twitter

- ・「駿府静岡市」（するが企画観光局）
- ・アトリエふじのくに（静岡県文化政策課）
- ・ハローナビしずおか（静岡観光協会）
- ・「まなぼっと」（静岡県総合教育センター）
- ・ふじのくに文化情報センター（静岡県文化財団）
- ・「しずはく.net」（静岡県博物館協会）
- ・日本博物館協会ホームページ
- ・日本考古学協会ホームページ
- ・「@S（アットエス）」（静岡新聞 SBS）
- ・Internet Museum（丹青社）
- ・Dokka！おでかけ探検隊
- ・キッズアートプロジェクトしずおか HP

8-4 トロペー

平成 22 年の登呂博物館リニューアルに向けて、デザイン及び愛称を公募して平成 21 年に誕生した登呂遺跡・登呂博物館イメージキャラクター。平成 29 年 1 月に駿河区応援隊長にも就任し、登呂遺跡・登呂博物館だけでなく静岡市駿河区全体の PR 活動を行っている。



名前：トロペー

由来：登呂遺跡の「トロ」とおコメ（米）の「ベイ」から

肩書：登呂遺跡・登呂博物館イメージキャラクター兼駿河区応援隊長

活動：博物館内における来館者とのふれあいの他、広報媒体や各種イベントに掲載・出演し、登呂遺跡・登呂博物館を宣伝している。

活用：平成 25 年度から静岡大学登呂博物館ボランティア「STV」がトロペーを活用する活動を開始。

平成 29 年 1 月 24 日には「駿河区応援隊長」に任命され、駿河区地域総務課が主体となり、駿河区のイメージキャラクターとしても活動している。

平成 30 年度には静岡市内にある城南静岡高校（駿河区南八幡町）の「地域貢献部」が、トロペー出演を含むボランティア活動を始めた。

活用状況 (駿河区地域総務課が窓口となったものは含まない。)

番号	出演日	出演イベント	出演場所
1	R2.10.17・18	屋台村	登呂遺跡



9 その他

9-1 博物館ボランティア

平成7年の活動開始以来、団体見学者の引率、体験展示室での説明補助、イベント補助などの活動を行ってきている。原則、毎月一回、博物館職員を交えた「ボランティア連絡会議」を開催している。

(1) 活動内容 ()内はボランティアの参加者数

月	会合	研修等			講座・イベント支援
		展示解説	米づくり	その他	
4月	中止				
5月	中止				
6月	会議 (22)		代掻き・ 田植え (6)		田植え体験(1)
7月	会議 (16)	夏季企画展「実測」(15)	田植え② (5)		
8月	会議 (16)		草取り (1)		夏休み自由研究お助け隊 (計6)
					丸木舟(1)
					ザリガニ釣り(5)
9月	会議 (15)				
10月	会議 (30)	秋季企画展「水とともに生きる 静岡平野のパイオニア」(27)	稲刈り (13)	みごほうきづくり研 修(6)	みごほうきづくり (6)
					稲刈り体験 (1)
11月	—		脱穀・もみすり (6)	平成の再発掘調査解 説会 (27)	稲刈り体験 (5)
12月	会議 (28)			土器づくり研修 (9)	しめ縄づくり (12)
				しめ縄づくり研修 (14)	
1月	会議 (28)	冬季企画展「ちっちゃ」展 (24)		「ちっちゃ」づくり 体験研修(9)	どんど焼き (12)
2月	会議 (26)			土器ツアー (24)	
3月	会議(39)				土器づくり野焼き (12)

(2) 登録者数：48人（令和2年4月1日時点。前年同時期46人）

(3) 平均活動人数：1日平均5.8人（前年度比0.6人減）

(4) 新規ボランティア募集状況

ア 応募人数：13人

イ 募集期間：令和2年8月1日～8月31日

ウ 事前研修：下記研修日程表のとおり（研修日は各回どちらか1日を選択）

回数	日時	研修内容
1	9月24日（木）または 9月26日（土） 10：30～12：00	・ガイダンス（ボランティア 体制、館概要、接遇） ・常設展示室の説明
2	10月3日（土） 10：30～12：00 または 13：30～15：00	企画展展示解説
3	10月8日（木）または 10月11日（日） 10：30～12：00	体験展示室案内
4	10月14日（水）または 10月18日（日） 10：30～12：00	登呂遺跡（遺跡の概要、遺跡 案内研修）

(5) 城南静岡高校ボランティアの活動

平成30年度から静岡市内にある城南静岡高校で「地域貢献部」が発足し、団体ボランティアとして登呂博物館で活動している。週末に体験展示室での体験補助や、夏休みのイベント等に参加・活動している。

部員数：15人（令和2年度） ※この人数は（2）の「登録者数」には含まない。



9-2 博物館協議会

博物館法第20条第1項及び静岡市博物館条例第11条第1項の規定に基づき、登呂博物館に「静岡市立登呂博物館協議会」を置いている。なお、博物館協議会は博物館法第20条第2項において「博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関」と定められている。

(1) 委員名簿 (◎会長)

ア 任期 令和元年8月1日から令和3年7月31日まで (令和3年4月1日時点)

選出区分	氏名	職業・役職
市民	石亀 雅敏	市民公募委員
市民	上原 薫	市民公募委員
社会教育関係者	海野 美枝	HITS ファシリテーション代表
家庭教育関係者	木村 貴子	静岡市立高松中学校 PTA 顧問
学識経験者	渋江 かさね	静岡大学教育大学院学校組織開発領域 准教授
学校教育関係者	杉山 昌之	静岡市立清水第六中学校長
学校教育関係者	野田 修	静岡市立南部小学校長
学識経験者	堀切 正人	常葉大学教育学部教授 常葉美術館館長
◎学識経験者	山岡 拓也	静岡大学人文社会科学部 (考古学) 教授
社会教育関係者	弓削 幸恵	NPO 法人「まちなびや」理事長

※五十音順 敬省略

(2) 令和2年度協議会開催実績

ア 第1回

日 時：令和2年10月30日(金) 10:00 - 12:00

会 場：登呂博物館1階 登呂交流ホール

出席者：10人

傍聴者：0人

内 容：(1) 令和2年度前半の事業報告及び令和3年度の方針

(2) 議題①「登呂遺跡を誇りに思う市民を育む登呂博物館運営の在り方」

(3) 議題②「登呂遺跡復元水田における観光者向け体験プログラム実施案について」

イ 第2回

日 時：令和3年2月10日(水) 10:00 - 12:00

会 場：登呂博物館1階 登呂交流ホール

出席者：10人

傍聴者：0人

内 容：(1) 令和2年度下期の事業報告

登呂遺跡復元水田における観光者向け体験プログラム実施報告

(2) 議題「登呂遺跡を誇りに思う市民を育む登呂博物館運営の在り方」

10 利用案内

(1) 開館時間

9:00 - 16:30 (博物館)、遺跡は24時間オープン

(2) 休館日

月曜日 (休日の場合は開館)、休日の翌日、12月26日から1月3日 ※臨時開館・閉館する場合あり

(3) 観覧料 (通常期：令和2年4月1日時点) ※博物館1階は無料をご利用いただけます。

区分	一回	団体※ ¹	回数券※ ²	共通券※ ³	団体共通券※ ^{1,3}
一般	300円	220円	1,400円	580円	460円
高校生・大学生	200円	150円	930円	360円	280円
小学生・中学生	50円	40円	230円	120円	90円

※1 「団体」は有料観覧者30名以上の団体

※2 「回数券」は5枚綴り

※3 「共通券」は登呂博物館に隣接する静岡市立芹沢銈介美術館との共通観覧券

ただし、以下の者は観覧料を無料とします。

ア 静岡市内に居住する70歳以上の者

イ 静岡市内に居住し、又は通学する小学校の児童及び中学校の生徒 (これらに準ずる者)

ウ 未就学児

また、学校団体の見学、身体障害者手帳等の交付を受けた方とその同伴者1名など、観覧料の免除となる場合があります。詳細は登呂博物館にご確認ください。

(4) アクセス

ア バス JR静岡駅南口から10分 しずてつジャストライン石田街道線「登呂遺跡」行き終点下車

イ 自動車 (ア) 東名高速道路 静岡ICから10分

(イ) 東名高速道路 日本平久能山スマートICから10分

ウ 駐車場 博物館南側 (東名高速道路側道北側) に有料駐車場あり (普通車一回400円)

(5) 音声ガイド ※新型コロナ感染症対策のため一時休止

常設展示室及び復元建物に音声ガイドを整備しています。専用のスマートフォンで利用できます。

ア システム 「pitatto」(ノムラテクノ株式会社)

イ 言語 日本語、英語、中国語 (文字は簡体字)、韓国語

ウ 設置箇所 15 (博物館内11、復元建物4)

エ 利用方法 専用のスマートフォンを博物館内で貸し出ししています。

オ 導入日 平成30年4月24日

静岡市立登呂博物館 館報 第 27 号 令和 2 年度

発行日：令和 3 年 6 月 30 日

編集発行：静岡市立登呂博物館

〒422-8033 静岡市駿河区登呂五丁目10番5号

TEL 054-285-0476 FAX 054-287-1466

torohaku@city.shizuoka.lg.jp <https://www.shizuoka-toromuseum.jp>